

「もったいない」 ～ある作業療法士の挑戦～



施設名：特別養護老人ホーム
部署名：施設部 看護課
発表者：猿渡 祥吾
(機能訓練指導員・OT)

機能訓練指導員とは

准・正看護師

理学療法士

作業療法士

言語聴覚士

柔道整復師

あん摩マッサージ指圧師

鍼灸師

機能訓練指導員とは、介護施設等を中心に利用者さんそれぞれの心や身体の状態に合わせた機能訓練のプランを立てて実施する、リハビリ分野の職種です。介護保険法で定められた職種で、通所介護（デイサービス）や介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などでは必ず1名以上の配置が義務づけられています。

玄海園では御利用者約100名に対し機能訓練指導員は1名配置されています。

入職時の悩み

個別訓練中心だと残りのご利用者への介入が…

一人で100人把握するには…

もっとじっくりご利用者と関わるは…

ADL・QOLにも力を入れたい…

ご利用者が笑顔になるためには…

ご利用者・ユニットスタッフ双方に

とっていい方法はないか…？

ADL・QOLを一人ひとり
みたい、上げたい!!

全員に目が届
かない!!



日課の見直し

月間予定表

9月活動予定表							
	日	月	火	水	木	金	土
日付				1	2	3	4
AM			新米	3-2	3-1	2-1	
PM				2Fよかぼっ会	カンファレンス	3Fよかぼっ会	
日付	5	6	7	8	9	10	11
AM		2-3	3-4	3-5	2-2	2-5	
PM		カラオケ	2Fよかぼっ会ライト	2Fよかぼっ会	2Fなんしゅ一会	3Fよかぼっ会	
日付	12	13	14	15	16	17	18
AM		3-5	2-4	カンファ(3)	3-3	3-1	
PM		カラオケ	3Fよかぼっ会ライト	2Fよかぼっ会	3Fなんしゅ一会	3Fよかぼっ会	
日付	19	20	21	22	23	24	25
AM			カンファ(3)	カンファ(3)		2-1	
PM		敬老の日	会議	2Fよかぼっ会	秋分の日	3Fよかぼっ会	
日付	26	27	28	29	30		
AM		カンファ(2)	カンファ(2)	カンファ(3)	2-3		
PM		カラオケ	3Fよかぼっ会ライト	2Fよかぼっ会	3Fなんしゅ一会		

日課表

出社



情報収集等



日替わりで
ユニットラウンド



昼休み



各種クラブ活動



必要に応じ個別訓練等



退社

ユニットラウンド（午前）



個別の訓練



ユニット活動



個別の訓練



季節行事

クラブ活動の充実（午後）



カラオケ倶楽部



よかばっ会



なんしゅ一会



よかばっ会ライト

日課表の見直しを行った結果

クラブ活動が充実し御利用者の楽しみが増えた

ユニットをラウンドすることで御利用者へ目が届くようになる

ご利用者のADLを把握しやすくなる

ご利用者に目が届くようになったことである「もったいない」御利用者に出会うことができました。

症例紹介

氏名：A・S氏（88歳）

（要介護5・女性）

H26.アルツハイマー型認知症
狭心症

R2.10～12 肺炎

R3.2 ガンジダ性食道炎

夫婦で入居されており夫とは
同一ユニット。ご家族の意向
も夫婦で過ごす時間を支援し
て欲しいとの希望あり。



A・S氏がもったいない理由

目立った拘縮が
見られない

バイタルが安定
している

体幹の筋力が見
られている

リクライニングの姿勢に左右の崩れが目立たない

家族から「夫婦
の時間を作って
欲しい」

バランスが整えば座
れるのでは・・・？



訓練内容

リラクゼーションマッサージ

ポジショニング

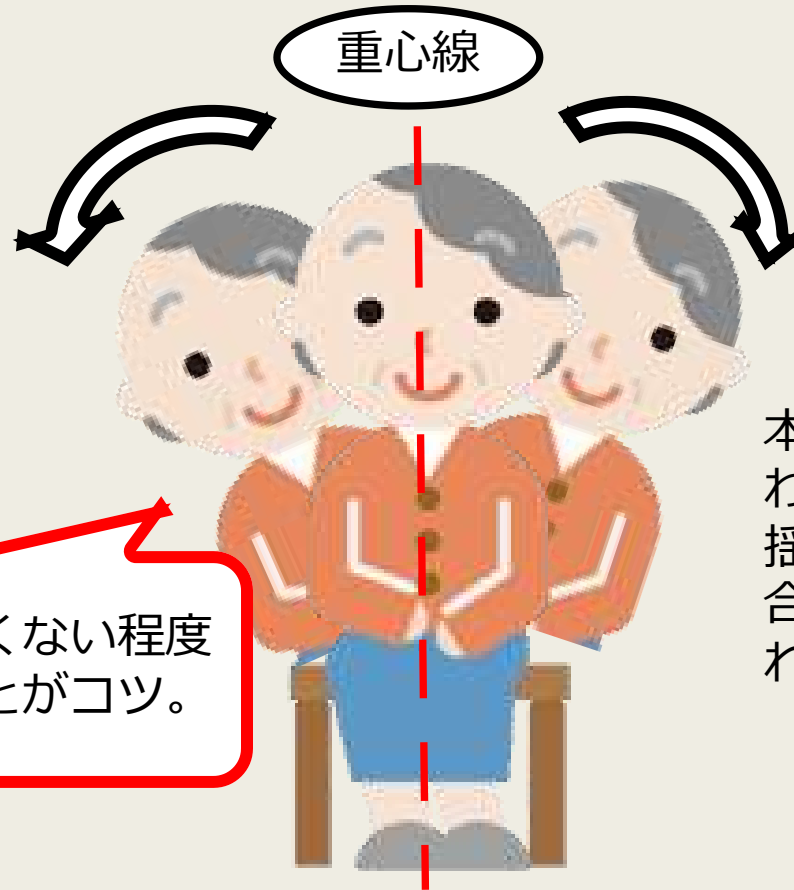
重心コントロール

ベッド上端座位訓練

肘付き椅子座位保持訓練



重心コントロールって？

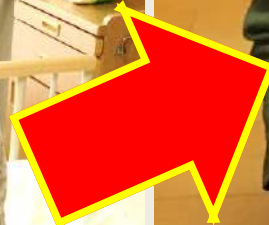


痛くない程度、怖くない程度
でゆっくり行うことがコツ。

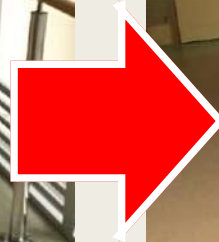
本人の弾力（緊張）に合わせて少しずつゆっくり
揺れていき、重力と釣り
合うことでバランスがと
れるようになってきます

*但し筋力・持久力がないと座ることが難しいです。
詳しくはリハビリスタッフにお尋ねください

座位保持訓練の結果



フルリクライニング⇒普通型へ



ユニットの反応

A・Sさんの座位が安定してきているので
入浴を臥床浴から座位式浴槽に変えたい
んですけど？イケますかね？



スタッフ



機能訓練指導員

今の座位能力であれば問題ないと思います。

ありがとうございます。早速座位式浴槽
に挑戦してみます！



スタッフ

座位訓練後の変化



ユニットスタッフから前向きな相談や得られる協力が増えてきた

臥床浴から座位式浴槽へ入浴
形態が上がった

体力がついた

離床がしやすくなった

夫婦で過ごす時間が増えた

表情が良くなる頻度が増した



A・S氏の座位向上による余波

リクライニング車いすから普通型車椅子へと移動手段が変化したことが思いがけず周囲のユニットにも伝わり、驚きの声が聞かれるようになる



ほかのユニットの反応

前向きな意見が多数寄せられるようになった

△△さんの移乗について聴きたい



□□さん今度活動に参加いいですか？



××さんって座れますか？



うちの〇〇さんは？



まとめ

日課表の見直しを行った事で御利用者に対し目が行き届くようになった

「もったいない」御利用者がみつきり、訓練を行った結果ADLが向上した

座位バランスが整い笑顔が増えるなどQOLが向上した

ユニットスタッフの意識が変わったことで更にADLが向上した

他のユニットからも、前向きな相談が見られる等スタッフの意識が上がってきている

今後の課題

「もったいない」御利用者へも目が行き届くようになった反面、自分ひとりで全てに対応することはできない。ユニットスタッフだけでなく多職種協力し、ご利用者のADL・QOLが向上するよう関わる必要がある。専門職としてリハビリの技術や環境整備を使った介護方法などを提案し、取り入れてもらうことで、さらなるADL・QOLが向上を目指し、御利用者だけでなくスタッフも、無理なく、少しでも「楽に」過ごせるようにしたい。



謝辞



今回ご協力頂いた症例A・S様、
ご家族へ深く感謝いたします。
お二人が少しでも長く一緒に過
ごせるよう関わっていきます。

ご清聴ありがとうございました。

